

<p style="text-align: center;">緊急事態版 (通常版での実施を判断する基準日：令和4年5月17日)</p>

《講座番号：2276》

令和4年度いじめ問題への理解と対応研修講座（管理職・主任層対象・いじめ関連講座①）実施要項

1 目的

以下をもって、いじめ問題への取組の中核を担う管理職等としての資質と実践力の向上を図る。

- (1) 本県のいじめ問題への取組と課題を踏まえ、自校のいじめ問題への取組を振り返り、具体的改善点を明確にする。
- (2) いじめ防止対策推進法および各いじめ防止等のための基本的な方針について理解を深め、いじめの未然防止、事案対処への包括的な理解を深める。
- (3) いじめ・自死等重大事態への具体的対応について理解を深め、法を踏まえた組織的対応の実践力の向上を図る。

2 主催

岩手県立総合教育センター

3 実施機関

岩手県立総合教育センター

〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第2地割82番1

担当者直通電話番号 0198-27-2821（教育支援相談担当）

4 研修者（対象）

県教育委員会、教育事務所、県立学校等から推薦又は指名があった管理職等 100名（予定）

5 実施方法

ライブ型（所属校で実施する研修）

6 期日及び期間

令和4年5月24日（火）～5月25日（水） 2日間

7 ライブ型の実施内容

(1) 日程及び講座内容等

日時		講座内容	講師・指導者等		
第1日	5月24日(火)	8:30～9:00	受付・会議参加		
		9:00～9:15	開講式 オリエンテーション	教育支援相談担当 研修指導主事	金野 節子
		9:15～10:15	講義 岩手県におけるいじめの問題の現状	学校教育室 首席指導主事兼生徒指導課長	千田 幸喜
		10:15～10:30	休息		
		10:30～12:00	講義・演習 いじめ認知後の対応と各校のいじめ防止対策基本方針の点検と改善	教育支援相談担当 主任研修指導主事	熊谷 宗紀
		12:00～13:00	休憩（昼食）		
		13:00～16:15	講義・演習 法を踏まえたいじめ問題への対応 ※適宜 15 分間程度の休息を入れる。	日本女子大学 教授	坂田 仰

第二日	5月25日(水)	8:30～9:00	受付・会議参加	
		9:00～12:00	講義と演習 いじめ・自死等重大事態への対応① ※適宜 15 分間程度の休息を入れる	大阪教育大学 教授 瀧野 揚三
		12:00～13:00	休憩（昼食）	
		13:00～16:30	講義と演習 いじめ・自死等重大事態への対応② ※適宜 15 分間程度の休息を入れる	大阪教育大学 教授 瀧野 揚三 学校教育室生徒指導担当 主任指導主事 下権谷 久和 指導主事 高柳 利幸 教育支援相談担当 主任研修指導主事 外川 直美 主任研修指導主事 熊谷 宗紀 研修指導主事 金野 節子
		16:30～16:45	閉校式 アンケート記入	教育支援相談担当 研修指導主事 金野 節子

(2) オンライン接続について

別紙「Microsoft Teams のオンライン会議の接続方法（ブラウザでの参加）等について」を参照し、オンライン接続すること。なお、接続テストの方法やその他の留意点についても別紙で確認し、事前に準備すること。

(3) 準備物等

携行品	備考
<input type="checkbox"/> 講義資料	5月20日（金）に、岩手教育情報交流ネットに掲載するので、各自でダウンロードすること。なお、データでの準備も可。 ＜保存場所＞ 岩手教育情報交流ネット（ログイン）＞研修講座実施要項＞研修実施要項＞特別研修に関する実施要項＞2276 令和4年度いじめ問題への理解と対応研修講座（管理職・主任層対象・いじめ関連講座①）実施要項＞テキスト
<input type="checkbox"/> 自校のいじめ防止対策基本方針	
<input type="checkbox"/> 『いわて「いじめ問題」防止・対応マニュアル（平成30年度3月版）』本編	総合教育センターホームページからダウンロードすること。 ＜掲載場所＞ URL: http://www1.iwate-ed.jp/tantou/tokusi/ijime_manual/kaiteihonpen.pdf

8 その他

(1) 欠席する場合は、速やかに所属長に相談の上、総合教育センター研修講座主担当者に電話連絡すること。併せて「令和4年度教職員研修の手引」47ページの【研修様式3】「令和4年度研修講座研修者欠席届・延期届」を総合教育センター宛てに提出すること。

※インフルエンザ等感染症にかかっているか又は疑いがある場合は、研修講座を受講できないこと。

(2) 研修者が研修に専念できるよう、所属校には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。